　　　（施設の機能及び性能に関する事項）様式４ Ⅰ-５　※令和6年3月15日修正版

|  |
| --- |
| 【建築付帯設備計画】環境保全・環境負荷低減（A4縦書き4枚以内） |
| ○環境保全・環境負荷低減について記載すること。  ・ZEB技術については、必要なエネルギー量を減らすパッシブ技術を積極的に採用し、建築的な取り組みや省エネルギー、環境への負荷の少ない設備等の導入を検討するとともに、脱炭素や環境保全性、経済性に配慮した熱源、エネルギー等を提案すること。  ・ZEB Readyでは評価に含まない創エネルギー技術（出力容量50kW以上）、及び蓄電設備（蓄電容量10kWh以上）についても合わせて提案すること。  ・『ZEB』やNearly ZEBに近づける提案がある場合は記載すること。  （※該当する□に✓を入れること。）  ●建物を、  　□　ZEB Ready  　□　Nearly ZEB  　□　『ZEB』  　とします。  ●創エネルギーは、  　□　太陽光発電  　□　水力発電  　□　バイオマス発電  　□　その他（　　　　　　　　　）  　により、  　出力容量（　　　　　　）kWの電力を創出し、  蓄電容量（　　　　　　）kWhの蓄電設備を設置します。  ●ZEBの概要（ZEBチャートを含む）は以下のとおりです。 |
| ◎疎明資料（例）  ・ZEBの概要資料　　・その他、記載した事項を客観的に証明できる書類等 |